## 「ドローンビジネスマッチングツアー」を開催



▲ドローン配送システムの説明を聞く参加者

企業誘致イベント「ドローンビジネスマッチングツアー」を 天山多久温泉タクアで開催しました。このイベントは、市が地 方創生連携協定を結んでいる株式会社トルビズオンとともに企 画し、まちづくり協議会の協力を得て行った取り組みで、今後 成長が見込まれるドローン関連企業の誘致をめざしています。

今回は物流業、不動産業、投資家など35社が参加。進出時の 優遇制度の説明や1.2km離れた住宅へのドローンによる食事配 送実験を見学しました。市の先駆けた取り組みに注目が集まり、 ドローン活用の可能性に関して参加者による活発な意見交換も ありました。

市は、産業の時代潮流の変化を見極めつつ、新たな誘致の可 能性を探るとともに、誘致企業による地域課題解決にも期待を 寄せています。

## 多久高レオクラブがあじさいにおもちゃを寄

ライオンズクラブが青少年育成を目的に設立し、多久高校生 主体で奉仕活動を行う団体「多久高レオクラブ」から児童セン ターあじさいに小学生向けのおもちゃを寄贈していただきまし た。おもちゃは児童センターから要望のあった「パネルシアター セット」や「バドミントン・テニスのフェンス」など12品で、 10万円相当。3月に多久で開催予定の年次大会を記念し贈られ たものです。

寄贈式で多久高レオクラブの小佐井優斗会長は「子どもたち に喜んでもらえたらうれしいです」と話され、多久ライオンズ クラブの香月正則会長は「利用する子どもたちのすこやかな成 長につながればと思います」と話されました。また、横尾俊彦 市長は「寄附のおかげで子どもたちがさらに楽しく過ごすこと ができるようになります」と謝辞を述べました。



▲ (右から) 多久高レオクラブ小佐井会長、多久ライオンズ クラブ香月会長、横尾市長

## 多久市チーム心をひとつに 県内一周駅伝大会結団式



▲一致団結し大会に臨む多久市チーム

第62回郡市対抗県内一周駅伝大会にむけて結団式(主 催:多久市、一般財団法人多久市体育協会)を中央公民館 で開催しました。式では園田心胡選手が「コロナ禍で走れ ることに感謝し、日々練習してきました。全力を尽くしま す」と力強く宣誓。横尾俊彦市長は「自分に打ち勝ち、努 力に報いる走りをしてください」と激励しました。

岸川隆監督は「昨年よりもいい記録を出し、市民のみな さんに元気を届けたいです」と話され、田中佑也選手は「今 年もコロナの影響で1日のみの開催となり、出場できない 選手もいます。みんなの思いを背負って精一杯走り抜きま す」と決意を述べられました。